

これからの税制は……

納税は憲法で定められた国民の義務ですが、国、地方公共団体の行う公共サービスの重要な財源である税を「だれが、どの程度、どのように負担していくか」を考えていく必要があります。

これからの、勤労世代の割合が少なくなる少子・高齢社会では、勤労世代だけに負担を求めるることは、経済社会に悪影響を及ぼしかねないという観点から、近年「世代間の公平」も求められています。

今後ますます進展する少子・高齢社会に対応し、必要な公的サービスを賄うための財源として、税が果たす役割は、一層重要になってきます。私たちもまた、経済社会の構造変化に対応するため、社会を支えるコストをどのように負担していくべきなのか、真剣に考えていかなければなりません。

得者に課税されています。

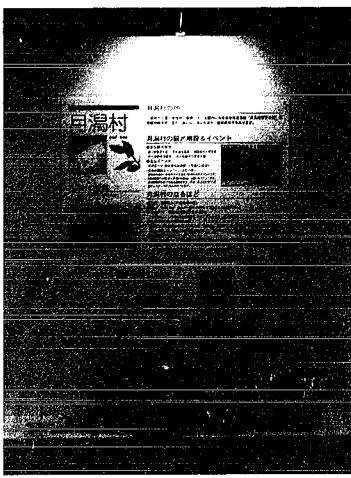
土地は登記簿により、また、新・増改築家屋（居宅・店舗・車庫・作業場など）は家屋調査により確認し、その評価額をもとに税額が計算されます。新・増築の際や老朽化・災害等のために、一部または全部を取り壊した場合は、早めに総務課税務係にお知らせ下さい。届け出された場合は、家屋の固定資産税は翌年から減額されます。

なお、家屋調査（税務係職員による）の際に確認した家屋については届け出はいりません。

詳細は、総務課税務係までお問い合わせください。



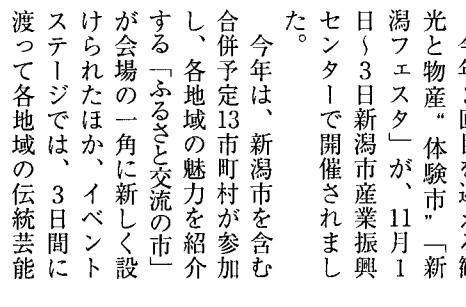
月潟小唄の会の皆さん



村のPRをしました



村の特産物を販売しました



軽自動車等の異動の申告について

軽自動車税は、毎年4月1日現在の、
所有者又は使用者に課税されます。
廃車又は他人に譲渡した時は、原動
機付自転車及び小型特殊自動車は税務
係へ標識（ナンバープレート）を返納
し、届け出して下さい。
軽自動車は新潟県軽自動車検査協会

「新潟フェスタ」

今年3回目を迎える鶴
光と物産“体験市”「新
潟フェスタ」が、11月1
日～3日新潟市産業振興
センターで開催されまし
た。

今年は、新潟市を含む
合併予定13市町村が参加
し、各地域の魅力を紹介
する「ふるさと交流の市」
が会場の一角に新しく設
けられたほか、イベント
ステージでは、3日間に
渡つて各地域の伝統芸能

村でも特産品のPR販
売を行い、珍しい銘菓類
などに関心を示す人の姿
も多く見受けられました。
また、ステージでは、
月潟小唄の会が出演し、
唄と踊りを披露しました。
さわやかな秋晴れのな
か、6万4千人の人々が
訪れ、小さな月潟村の大
きな魅力をたくさんの人
に紹介することができます。



「税を知る週間」 11月11日(火)～17日(月)

この社会、あなたの 税がいきている

国や県・市町村は、私たち国民が豊かで安定した暮らしのできるように、社会福祉の充実、住宅や道路の整備、教育の振興など、幅広い活動を行っています。

こうした国や地方公共団体の活動の財源となるのは税金です。税金は、私たちが生活の向上と安定を願う限りどうしても負担しなければならない、共同社会を維持するためのいわば「会費」といえましょう。

そこで国税庁では、広く国民の皆さんに税の意義や役割を正しく理解していただけるよう、毎年11月11日から17日までの期間を「税を知る週間」として、全国的に税についての各種の広報活動を実施します。

是非この機会に、税について考えてみてはいかがでしょうか。

巻税務署・燕西蒲地区納稅貯蓄組合連合会では「税を知る週間」にちなんで中学生から税についての標語を募集しました。

管内の中学生から多数の応募があり、月潟中学校3年高木寛さんが関東信越国税局長賞を受賞されました。

● 標語入選作品

税金で 創ろう社会 開こう未来 月潟中学校3年 北 伸康	税金は 共に生きゆく パートナー 月潟中学校3年 小林 振則	税金は みんなを守る 宝物 月潟中学校2年 高橋 元紀	税金で 輝く未来 豊かな暮らし 月潟中学校2年 加藤 真己
税金は 見えない所の 力もち 月潟中学校2年 金子いづ美	税金で 明るい世界 明るい未来 月潟中学校2年 五十嵐七月	税金で 明るい世界 明るい未来 月潟中学校1年 伊藤 未央	税金で 住みよい町を つくる鍵 月潟中学校2年 中村 源貴
税金は 今日と明日へのかけ橋に 月潟中学校2年 山坂 彩華	税金で 開こう未来の明るい社会 月潟中学校3年 野内 敬太	税金で 住みよい町を つくる鍵 月潟中学校2年 吉田 茂之	税金で 住みよい町を つくる鍵 月潟中学校3年 野内 敬太
税金で 住みよい町を つくる鍵 月潟中学校2年 吉田 茂之	税金で 創ろう社会 開こう未来 月潟中学校3年 北 伸康	税金で 住みよい町を つくる鍵 月潟中学校3年 野内 敬太	税金で 住みよい町を つくる鍵 月潟中学校3年 野内 敬太